

逆光を補正してみよう！

Adobe Premiere (アドビ プレミア)6.5

逆光のため、顔が真っ暗になって映っていることがあります。こんな場合「エフェクト」機能を使えば表情がわかるようになります。

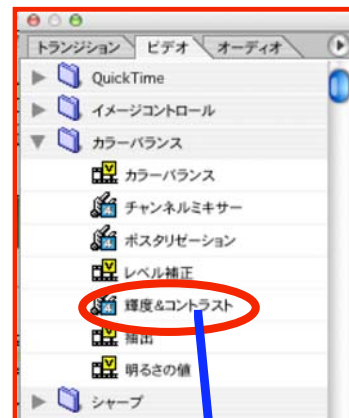
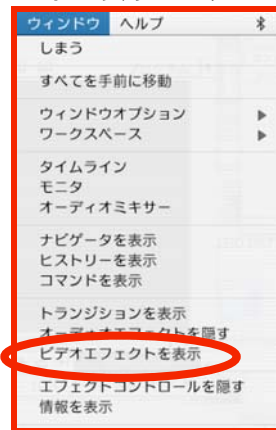


元の画像（逆光で顔が見えない）

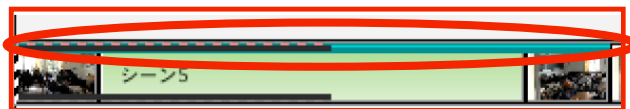
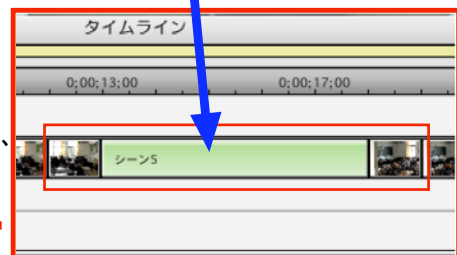


輝度&コントラストで補正した画像

1. ウィンドウ→ビデオエフェクトを表示→ビデオエフェクトパレット→カラーバランス→輝度&コントラストを選びます。



2. タイムラインウィンドウの中の逆光補正をしたいビデオクリップに「輝度&コントラスト」を  でドラッグ&ドロップすると、タイムラインの上に緑の線が現れます。
(一つのクリップの一部分だけにエフェクトをかけたいときは、その部分の前後をレザーツールで切り、クリップを分割すると簡単です。)



3. モニターウィンドウに映る画像で確認しながら、エフェクトコントロールウィンドウの△を動かして輝度とコントラストの数値を上げていき、見やすいところに設定すると上の写真のように逆光が補正されます。

